



## 夏休みって、先生たちは何をしているの？

### 先生たちもしっかり勉強しています。

先生たちの夏休みの過ごし方って、けっこう気になりますか？夏休みの学校は、子どもたちの元気な声が聞かれず、少し静かです。その静けさの中で、先生たちは2学期の準備を進めています。実はこの期間、先生たちにとって大切な「学びの時間」なのです。

たとえば通知表についての研修では、成績をつけるだけではなく、「評価とは何か」「どうすれば子どもたちの成長を伝えられるか」といったところから話し合いました。一人一人の努力や成長を、より分かりやすく、よりあたたかく伝えるための工夫を、みんなで意見を交わしながら深めました。



また、熊本県立盲学校を訪問し、視覚に障がいのある子どもたちの世界を体験する研修も行いました。視覚障がいの疑似体験や、手で形を感じ取る活動を通して、すべての子どもたちにとってよりよい学びの場をつくるヒントを得ることができました。誰もが安心して学べる環境づくりへの意識が高まりました。

「カリキュラムマネジメント研修」では、2・3学期の学習内容を検討しました。生活科や総合的な学習を中心に、教科や行事との関連を考えながら、子どもたちにどんな力をつけたいか、そのためにどんな学びが必要かを話し合いました。学年部ごとに計画を考え、意見を出し合いながら、外部講師の協力のもと、よりよい教育活動を目指して準備を進めました。



「カリキュラムマネジメント研修」では、2・3学期の学習内容を検討しました。生活科や総合的な学習を中心に、教科や行事との関連を考えながら、子どもたちにどんな力をつけたいか、そのためにどんな学びが必要かを話し合いました。学年部ごとに計画を考え、意見を出し合いながら、外部講師の協力のもと、よりよい教育活動を目指して準備を進めました。

職員会議では、特に運動会について議論しました。「子どもたちが力をつける運動会にしたい」「誰もが楽しめる運動会にしたい」といった思いを込めて、時間をかけて計画を練りました。

地域の皆様とともに開催した「学校安全対策協議会」では、通学路の危険箇所の確認や改善策について、活発な意見交換が行われました。



研修以外でも、職員室では、先輩の先生が授業のコツを伝えたり、若手の先生がタブレットの使い方を教えたりと、世代を超えた学び合いもありました。こうした積み重ねが、子どもたちの成長を支える土台となっていきます。

夏休みだからこそ、先生たちは静かな校舎の中で、子どもたちの笑顔を思い浮かべながら、2学期に向けて力を蓄えています。子どもたちが安心して学び、のびのびと成長できるよう、学校全体で力を合わせてがんばっていきます。2学期の準備、万端です。

## 2学期に備えて、生活を整えましょう！

夏休みは、自由な時間が多い分、のんびりと過ごすことが多くなります。リラックスできることはとても大切ですが、夏休み明けの生活の変化や、季節の変化による体調不良を避けるため、夏休み中に生活習慣を整えましょう。そのためにも、「早寝！早起き！朝ごはん！」を大切に！



学校のホームページは見ていただいていますか？学校だよりは月1回の発行です。日々の子どもの活動は学校ホームページで発信しています。ぜひ、ご覧ください。

### 浦島太郎校長のつぶやき



「先生たちは夏休みもしっかり仕事しています」とお伝えしましたが、いつもよりゆっくりすることができました。ふと目にしたネットニュースに、「しっかり休んだ人ほど『お盆バテ』に注意！」という記事発見。2学期に向けて、上手に体と心を慣らしていきます。まずは30分間の自転車通勤を再開。汗だくになりながら必死にペダルをこいで通勤です。